



「令和」最初の新年を迎えて

「令和」最初のお正月、穏やかに新しい年をお迎えのことと存じます。本年も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

後期前半終了の集会で、次のようなお話を生徒にしました。(概略)

シアトルマリナーズを昨年の3月に引退したイチロー選手は、故郷である愛知県豊山町で「イチロー杯」を開催し、少年野球を通して次の時代を担う選手を育てている。引退を機に本年度で最後となり、式典の中でのあいさつで「これからは『自分で自分を育てる』』ということ大切にしてほしい」と語ったことがとても印象的だった。これを自分なりに言い換えると「もう一人の自分」がちゃんと自分の中にいるかということである。

- ・なまけたいと思うとき、「もう一人の自分」がそれでいいのかと自分に問う。
- ・他の人に対して相手を傷つけるような行動や言葉を、「もう一人の自分」が人としてそれはどうなのか、恥ずかしくないのかと自分に問う。
- ・苦しんでいる友人を見て、「もうひとりの自分」が、今こそ手助けをすべきではないのかと自分に問う。

イチロー選手が言いたいことはこんなことではないかと思った。

新しい年を迎え、3年は次のステップの年、2年生は最上級生としてこの常葉中を築いていく中心となる年、1年生はいよいよ後輩ができ、先輩となる年。一人一人が自分の成長を信じ、次のステップを踏めるよう、新年に自分自身に問いかけ、目標を決めてほしい。

右の写真は2年生が取り組んだ書初めで、3階の廊下に掲示されています。令和2年の抱負や目標をしたためたものです。今の自分を、そして今年1年を見つめ決意したことで、その思いを一字一字に込めたことは、書に自信がない私にもとても伝わってきました。このように自分で自分を育てる、



“自己教育力”を身に付けていくこともこの中学校生活の中で重要なことととらえています。生徒一人一人の成長をサポートしつつも、子どもがもつ問題のすべてを肩代わりするのではなく、自分の力で解決しながら「もう一人の自分」が自身を育てることができるよう、そんなかわり方も大切にしていきたいと考えています。令和2年が生徒一人一人にとって、そして皆様にとって良い年となるよう願っております。